

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年4月14日（火）

2 確認箇所

- ・既設多核種除去設備
- ・増設多核種除去設備

3 確認項目

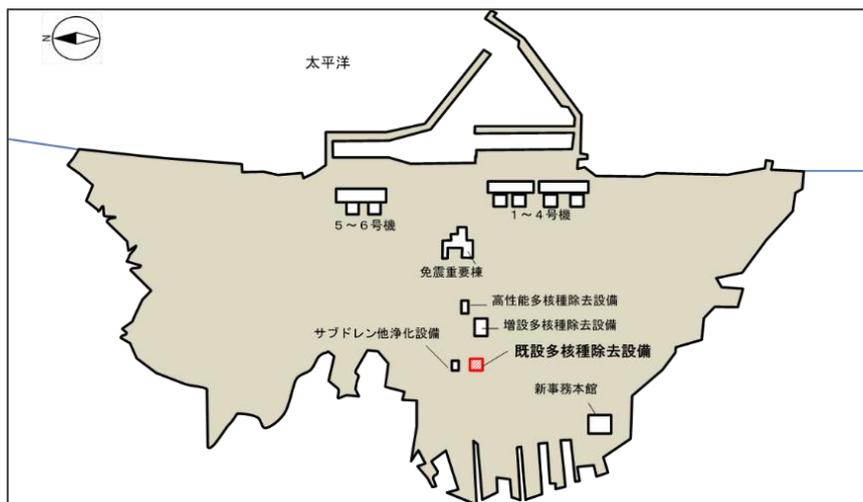
- (1) 既設多核種除去設備（C）吸着塔6C入口pH計ラック内での漏えいへの対応状況
- (2) 既設多核種除去設備（B）吸着塔9Bの吸着材交換作業の状況
- (3) 増設多核種除去設備内でのHIC移送作業の状況

4 確認結果の概要

- (1) 既設多核種除去設備（C）吸着塔6C入口pH計ラック内での漏えいへの対応状況について

令和2年3月13日及び同月23日に、吸着材交換作業中に既設多核種除去設備（C）吸着塔6C入口pH計ラック内で漏えいが発生し、応急措置として漏えい水の拭き取りや漏えい箇所の袋養生が実施された。（前回確認：3月17日、3月23日）本日は、当該漏えい箇所のその後の対応状況及び漏えい箇所周辺の現況について確認した。

- ・漏えい箇所は、前回同様袋養生された状態であった。（写真1）
- ・pH計ラックには、バルブ開閉時には中央操作室に連絡する旨の注意書き及び吸着塔pH計ラック流量調整が新たに掲示されていた。（写真2）
- ・養生された袋の内部及びドレンパン内を確認したところ、目視した範囲では新たな漏えいはなかった。
- ・東京電力によると、現在詳細な原因を調査中であり、原因確認後に再発防止対策を検討するとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図 (既設多核種除去設備設置場所)



(写真1)
漏えい箇所の状況



(写真2-1)
注意書きの掲示状況



(写真2-2)
吸着塔pH計ラック流量調整の掲示状況

(2) 既設多核種除去設備 (B) 吸着塔 9 B の吸着材交換作業の状況について
既設多核種除去設備内を確認したところ、当該設備 (B) 吸着塔 9 B の
吸着材交換作業が実施されていたため、状況を確認した。

- ・ 充填する吸着材が 2 つの容器に入れられて既設多核種除去設備入口に設置されており、そこからホースで吸着材が吸着塔 9 B まで移送されていた。(写真 3)
- ・ 既設多核種除去設備入口と吸着塔 9 B は離れているため、電話等でそれぞれの場所の作業員と連絡を取り合いながら作業が実施されていた。
- ・ 確認した範囲では、漏えい等のトラブルはなく、作業が実施されていた。



(写真 3-1)
既設多核種除去設備入口付近の状況



(写真 3-2)
吸着塔 9 B 付近の状況
赤丸部分で吸着材を移送するホース
と吸着塔 9 B の配管が接続されている

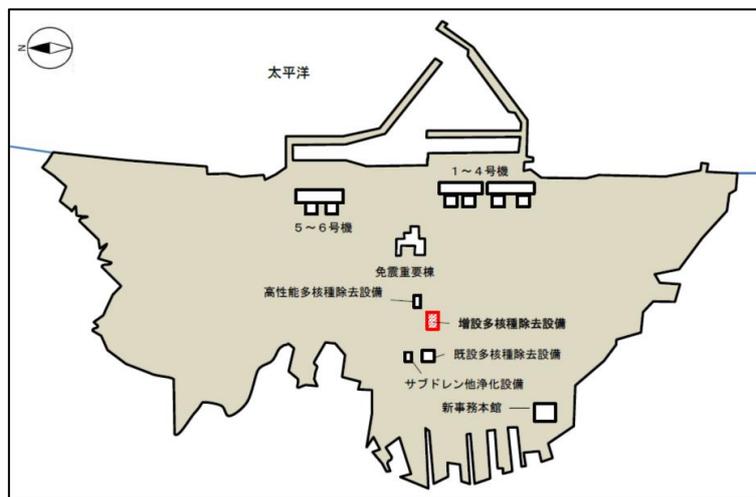


(写真 3-3)
写真 3-2 赤丸部分拡大

(3) 増設多核種除去設備内での H I C 移送作業の状況について
増設多核種除去設備内の現況を確認したところ、使用済の吸着材沈殿生
成物を貯蔵するための容器である高性能容器 (以下、「H I C」とい

う。)を移送する作業が実施されていたことから状況を確認した。各作業の状況は写真4のとおり。

- H I Cの吊上げ等は門型クレーンで吊した玉掛け用器具を使用して実施され、門型クレーン操作者は周囲の状況を確認しながら慎重に操作を実施していた。(写真4-1、4-6、4-8)
- H I C輸送コンテナを積んだトレーラーが増設多核種除去設備内に入構する際は、作業員がスピーカーで指示をしながら慎重に誘導していた。(写真4-4)
- H I C吊り上げ前後で、周辺の空間線量率に大きな変化はなかった。
- 確認した範囲では、特にトラブルなく作業が実施されていた。

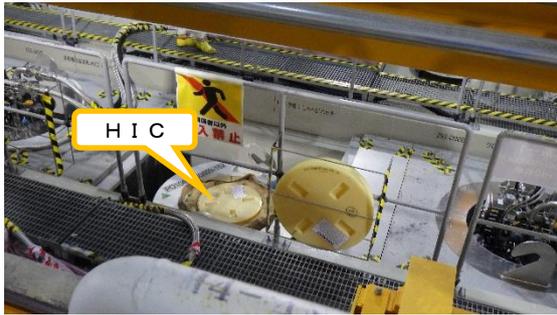


(図2) 福島第一原子力発電所構内概略図(増設多核種除去設備設置場所)



(写真4-1)

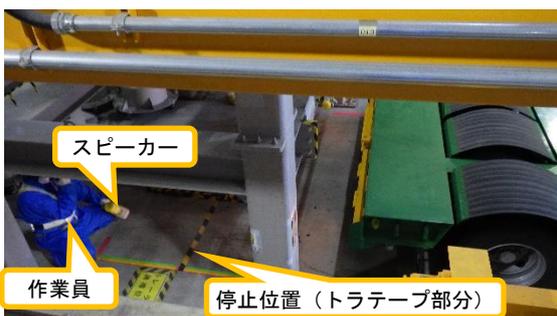
H I Cしゃへいハッチ取り外し作業



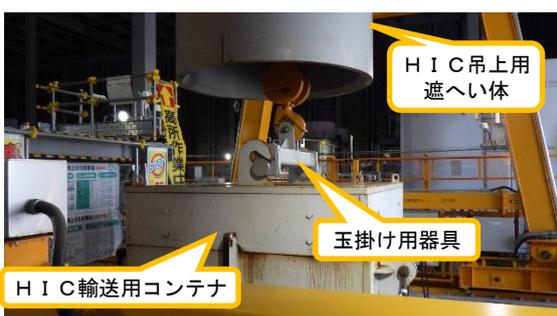
(写真4-2)
ハッチ取り外し後の状況



(写真4-3)
トレーラー入構作業
H I C 輸送用コンテナを積んでいる



(写真4-4)
トレーラー誘導作業
作業員がスピーカーを使い、トレーラーを停止位置まで誘導している



(写真4-5)
H I C 輸送用コンテナ蓋の玉掛け作業
門型クレーンで吊した玉掛け用器具で玉掛けを行い、蓋を取り外す



(写真4-6)
H I C 輸送用コンテナ蓋の取り外し
作業
取り外した蓋は近傍の架台に仮置き
された



(写真4-7)
H I C の玉掛け作業



(写真4-8)
H I C の吊り上げ作業

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。